



福祉と住環境を考える

ふくてっく

559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC・ITM 棟 11F エイブルスL
TEL 06-6614-6800
mail@fukutech.sakura.ne.jp http://fukutech.sakura.ne.jp/

2014年12月
第87号

特定非営利活動法人
ふくてっく

『二十周年を迎えて』

理事長 小川忠雄

平成二十五年度のふくてっくは、この一年を二十周年記念年とし、これまでを振り返る形で定例会、学習会等を進めてきましたが、その後を締めくくる意味で八月二日ATCにて「二十周年記念&パーティー」を開催しました。

一口に「二十年を振り返る」と言ってもそれは想像をはるかに超える作業となりました。膨大な資料の整理から始まり、ふくてっく初期から活動されている方々の記憶を手繰っていきました。

当初の各会員の志、活動目的等は年月を追う毎に変化していき、それに伴い多くの会員が去っていきましたが、活動に興味を示す新たな人達に参加（会員となり）するという形でふくてっくも大きく変革してきました。

二十年の流れを振り返るパネルを製作する中で、創成期の方々は「こんなこともあったなあ」と懐かしがっていましたが、何より「若かった!」と自身の容姿と体力の変化に時代の経過を感じていました。

また近年入会の会員においては、ふくてっくの成り立ちから活動趣旨、これまでの活躍ぶりを知るきっかけとなり、全会員にとって共通の意識が芽生える良い機会となりました。

また、多岐にわたる学習会講師としてご協力頂いた方々の顔ぶれに改めてふくてっくの凄さを認識しました。記念パーティー開催に伴い、この二十年間にお世話になった方々へパーティー参加の有無を確認する葉書を発送させて頂いたのですが、祝福コメント入りの返信あ

り、近況を報告される方あり、体調の都合で参加がかなわない方など、少しふくてっくからは遠ざかった方々にも改めてふくてっくを思い出していただくきっかけ、繋がりが出来たかなと思っております。



～趣味は幸せづくり 特技は笑顔づくり～



ふくてっくのあゆみ 「こんなこともあったね。^o^」「若かった!!」「なつかしい…。(^.^)

ふくてっく発足
二十周年パーティー



「次は30周年を目指します!!」

パーティーでは、会設立からの唯一の会員である有馬会員の「次は三十周年目指します!」と元気な一言があり、続いて杉浦会員の乾杯の発声で幕を開けました。参加くださった各団体、個人の皆様との交流、久しぶりに元氣な顔を見せてくださった方々との懐かしい話にあってという間に時間は過ぎてしまいました。時間が足らず、代表して数名の方々からお祝いの言葉をいただきました。



「乾杯!!」なごやかに宴が始まります



締めくくりは、長く事務局長時代を経て現在も現役バリバリに仕事をこなしながら、ふくてっくにどんどん新しい風を送り込んでいる中北会員の貴重な話を聞くのはずが乱入者?あり、アルコールの呪い?の前に、最後はみんなグダグダになり幕を閉じることになりました。パーティーに参加いただき



祝ってくださいくださった方々には心から感謝し、本当に良いパーティーになったと関係者一同大変喜んでいきます。パーティー終了後はお土産として、近年のふくてっくではノーマライゼーションの象徴として使用する事が多い、岡会員の「すべらんうどん」をみなさんにお持ち帰り頂きましたが、この様な



『おもてなし』が出来ることもふくてっくの層の厚さ、二十年の積み重ねがあつての事だと感じています。これからもふくてっくは成長し続け、まずは二十五年(四半世紀)、そして三十年を目指し成長期から成熟期を迎えられるよう頑張っていきたいと思えます。

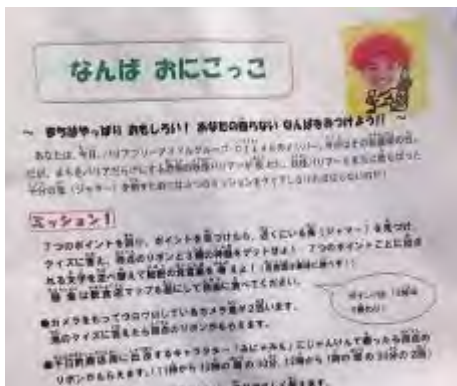


宴の締めめに貴重なお話を・・・



こむねっと部会 & 東大阪部会

なんばおにごっこに参加して



2014年10月18日(土)に開催された「なんばおにごっこ」にふくてっくメンバー10名で参加しました。総参加者412名と聞いています。趣旨を十分に理解しないまま参加したこと深く反省し、ちょっと「おにごっこ」についてご紹介いたします。

障害者自立生活協会のバリアフリーアドバイザー養成講座の一環で「まち遊び」の新しい試みとして始められた「おにごっこ」は今年で4回目になります。



受付でもらったミッション指令書のヒントをもとに、まち歩きをしながらポイントを探し、そこにいる鬼から出題されるクイズに答え、レイを集めていきます。ちなみに、1回目は梅田の地下街を中心に歩く「梅田おにごっこ」、2回目は天王寺動物園と新世界を歩く「新世界おにごっこ」、3回目は阿倍野にできた歩道橋を中心に歩く「阿倍野おにごっこ」、そして今年4回目は千日前商店街などを歩きました。参加者には3つのミッションが与えられます。

ミッション1は、クイズに答えレイを集め、ミッション2では、今年の日目！！ギネス記録をねらった、道頓堀川の両側で開催される綱引きに参加し、ミッション3は、暗黒バリアフル城にいる妖怪バリアールのボスを倒し、優勝者を決定するというものでした。残念ながら、私は、綱引きが始まる前に帰ることとなり、その後の様子は、写真でご確認ください。

いつもなにげなく歩いているまちも、視点を変えるだけで見過ごしていたことに気づくことが出来るイベントでした。ミナミのゆるキャラ「みにやみん」にちなみ、私の大好きな猫がまち中にいっぱい！！車いすの人もそうでない人もとても素敵な笑顔にあえた日でした！毎回バリアフリートレマップが作られていることもすごいと思います。(曾我部 千鶴美)



ミッション1:まち歩き鬼さがし!!



ミッション2:綱引き開始! 勝負はどうなった?



ミッション3:妖怪バリアフル城も集結、キングジャマーをやっつけた!



最後に全員集合 多分「にや〜」って言っているのね!



ふくてっくメンバー



ふくてつく学習会

十月十一月の学習会では
詳細なメモをとることがで
きませんでしたので、筆者
なりの印象記とさせていた
だきます。

講師はいずれも昭和二十
二年生まれの団塊世代です
その世代も既に高齢者の域
に入り、ある者は現役を退
いてゆとりの世界に入り、
ある者は新たな人生を見つ
け、またある者はさらにラ
イフワークを追求していま
す。生き方はひと様々、そ
れぞれに生きてきた証しを
どこかに結実しようとして
います。

すでに、とりあえずの責
務や義理を果たしたのちに
なお拘るものは何なのか？
同世代の者として共感する
思いをまとめてみました。

十月学習会
船場地区の
活性化と市民活動

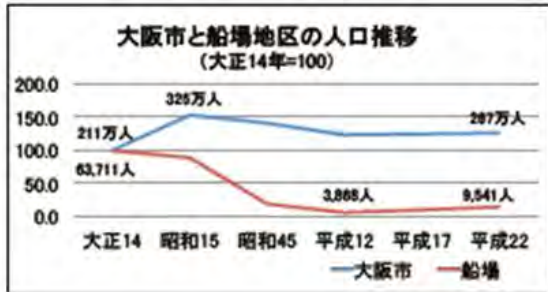
講師 谷口康彦氏

元URサポート都市再生事
業本部都市再生企画部長

私は大学卒業後日本住宅
公団、今のURに入職し、
都市再開発事業に取り組ん
できましたが、退職後は小
さなラボを船場の淡路町に

構えて、様々な市民活動と連
携して、同地区の活性化に取
り組んでいます。

大阪のまちの歴史をふり
返ると、戦後の復興期には他
の大都市と同様に地方から
の勤労者の大移動があり、市
域も拡大してゆきました。そ
の後、夜間人口の郊外へのス
プロールが始まり、都心が空
洞化してゆきます。船場地区
においても大正十四年には
人口六万四千人、一世帯当た
り人数も七・三人でしたが、
平成七年には人口三三七二
人、世帯当たり一・四一人と
激変しています。その後都心
回帰の動きが生まれ、平成二
十二年には夜間人口九千五
百人にまで回復してきまし



すなわち、かつての大阪の
まちは、そこに住み、仕事を
し、子どもや奉公人に教育を



大阪倶楽部
1924年竣工の近代建築 国登録有形文化財



旧緒方洪庵家住宅 (適塾)
江戸時代末期の大阪の町家建築 国指定重要文化財

施しながら、自分たちのまち
を盛り立てた市民社会だ
ったのですが、急速な経済発
展のなかで、そうした生活の
営みが郊外へ移っていった
時代を経て、今また都心居住
の魅力が見直されようとし
ているのです。それは、新し
い住まい方、新しい勤労形態
の発見でもあります。情報ツ
ールの発達や専門職域の変
化に伴い、従来のような産業
立地の集積理由が希薄にな
りつつあります。そんな中で
SOHO (スモールオフィス)
・ホームオフィス) のスタ
イルが広がっており、船場地
区にはその資源が豊富に残
存しています。URでもそう
した意図をもったマンシヨ
ン開発をいくつか手がけま
したが、その後は民間の手で、

その路線が踏襲されていま
す。

一方、船場地区には魅力的
な近代建築が多数残されて
おり、そうした資源を活用し
た住空間、商業空間利用の動
きも勢いを増しています。

そのような気運の中で、船
場げんきの会は二〇〇一年
十二月に発足し、以来十年余
に亘り様々なイベントを通
じて活動してきました。構成
員は多岐に亘り、二〇一四年
現在二十八のグループが活
動しており、それぞれの多様
な目的を互いに尊重しつつ、
ゆるやかな連携のまちづく
りを目指しているのです。

二〇〇五年からは毎年フ
ォーラムを開催してきました。
初期は先進都市に学ぶと
いう姿勢でしたが、やがて各

十一月学習会
六十五歳を過ぎてからの
健康管理

講師 福井宏有氏
福井整形外科医院院長

私は昭和五十五年から東
三国で整形外科医院を開業

しています。今日は整形外科
の立場から骨の働きと健康
について話します。

- ①骨格を形成してからだの
様々な器官の重量を支えて
体の姿勢を保つ(支持機能)。
- ②骨と骨がつながって、脳や
内臓など、衝撃に弱い器官を
保護する(保護機能)。
- ③骨の連結部分が支点、力点
作用点となって筋肉の働き
を得て体の動きに導く(運動
機能)。
- ④骨の中心部にある骨髓組
織は赤血球や白血球を造る
造血器官となっている(造血
機能)。
- ⑤からだの働きに欠かせな
いカルシウムやリンを貯蔵
している(貯蔵機能)。

このように、通常は①の機
能しか認識されていないが、
実は骨こそは人間の生命維
持に欠かせない重要な器官
なのです。

生命は海の中で誕生しま
したが、海水にはカルシウム
やリンが含まれていたため、
すぐには骨のような臓器は
必要ではなかった。しかし貝
は外部に固い貝殻をつくら
せて身を守り、魚は骨を形成
したので敏捷な動きを可能と
しました。魚が海を離れてカ
ルシウムやリンの含まれな
い淡水を経て陸上上がる
につれ、骨の役割はより増加
し、それとともに動物は進化
を進め、その究極に人類があ
るのです。

骨は、できあがってそのまま定常であるのではなく、破骨細胞により絶えずその組織が破壊されてカルシウムが吸収され、次いで骨芽細胞により新たに骨形成がされるという循環(代謝)を繰り返しています。年を取ると破骨と骨形成のバランスが崩れ、骨密度が低下して脆くなつてゆく。これが骨粗しょう症といわれる症状で、特に閉経後の女性に顕著にみられます。我が国は急激な高齢化の中で、骨粗鬆人口が今後著しく増加することが避けられませんが、そして、その大半が女性なのです。



初期は前のめりに転倒し、手の骨を折ることが多く、やがて横によろめいてこけるようになり、最後は後ろに尻餅をつくると大腿骨頸部に

骨折を起こすのですが、そうすると寝たきりとなって概ね三か月で死に至ると言われています。だから骨粗鬆を予防し、骨折を未然に防ぐことは生命維持という観点で極めて重要な課題と言えるのです。

このように、はつきりと認識できる骨折はともかくとして、本人も気が付いていない骨折は絶えず発生しています。例えばマラソンを一回走るたびに二十数ヶ所の骨折が起こっていると言われています。それでも本人には痛みもなく、骨は再生を繰り返しているのです。しかしやがてその再生能力も衰え始める。加齢とともに身長が縮むのは脊椎が骨折してゆくからなのです。脆くなり始めた骨は、その進行を抑えることはできても、再び強化することはできません。そうして一つの骨折は他の骨折を誘発します。

骨は、例えば頭蓋骨を背の高さから落下させると木端微塵に破壊することからわかるように、とても脆いものであることを認識して、くれぐれも健康寿命を保つよう心掛けてほしいものです。繰り返しますが、骨のトラブルは命に係わる重大事なので、骨の養生、そして転倒防止に注意しましょう。

(文責 中北 清)

タイアップまつり
『高齢期の住まごと暮らし』

十月二十五日大阪市立住まい情報センター主催で『高齢期の住まいと暮らし』

生前整理・住み替え・エンディングノート・遺言・相続

をテーマに「シニアライフの不安やお悩みを一举に解決!!」と銘打つてのタイアップまつりがありました。

セミナー・ワークショップ・相談会等、内容豊富なイベントで、ふくてっくは「シニアのためのいろいろる相談会・高齢者の住宅改修」を担当し、清水会員と小川が参加しました。

セミナー「シニアの新しい住まい方」、パネルディスカッション「シニアの現状とこれから暮らし」があり、ふくてっく学習会にも講師としてお招きした米沢なな子さん、殿村美知子さんが壇上で意見を交わされていました。参加者はやはり高齢の方々、そして女性の方が多く見られました。当会学習会での記憶に新しい殿村さんの「おひとりさまコンシェルジュ」には多くの方が頷き共感していました。全体の話の流れは生前にするべき事、これからの住まい方(住み替え)が主題とな



パネル展示
高齢者の住まいや暮らしに関する様々な情報や事例紹介



セミナー「シニアの新しい住まい方」
ワークショップ「自分の老後生活を描いてみよう」ほか

っていました。そんな中、ふくてっくは住宅改修の相談窓口を設けたのですが、事前の予約は一件のみでした。しかし、相談会がスタートするといきなり飛び込みで一件相談が入り早速聞いてみると、「住宅改修の相談と言うよりは解体(建て直し)か改修かの選択でお悩みの方の相談でした。家屋の状況とお住まいになる方の身体状況等々から、いろいろな角度からの提案をし、最後は「光が見えました。対応策というか、何を考えて決めなければならぬかが判りました」と言っていたいただきました。

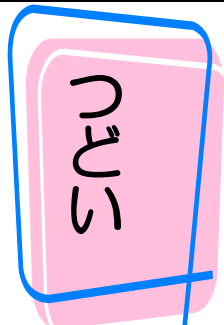
結果としてこの日の相談はこの一件のみで事前予約の相談はキャンセルになりました。相談者がいない時間はふくてっくのリーフレットを持つて他の団体に挨拶廻りをする予定でしたが、隣のブースに挨拶に行つた先で住宅相談の話になり、時間切れで一団体にしか挨拶出来ませんでした。

また今回のタイアップまつりに際して、以前ふくてっくがタイアップ事業に参加した時に作成頂いた(所有は大阪市立住まい情報センター)パネルの更新もし、会場内で他の団体と同様に展示しました。そのパネル前にふくてっくの活動チラシを十数部程度置いていたのですが、

が持つて帰られたようです。この様な他団体も参加する催しや交流会を含め、一般の方との接点は貴重であり、これからの機会があれば積極的に参加していきたいと思

(小川 忠雄)





里山訪問レポート Ⅲ

十一月三日これまで二回お世話になっている「生駒いいもり里山サポーターズ」管理の里山訪問、九名の参加となりました。

当初訪問を予定していた日は大型台風接近により中止。次候補日も週間予報では雨模様。訪問日が近づくとつれ天候も回復傾向になり、ついに前々日には曇りの予報となり訪問を決定しました。気温は低い予報でしたがこちらは作業と山登りのせいか暑いくらいで、厚着をしてきた参加者は汗をかいていました。今回はこれまでの里山訪問と異なり、十一月二十三日に行われる木工教室の木材調達に山の木を分けていただく目的がありました。またその木材を切る時に必要な台も里山の西川さんの「山の材料で作ったらしいやん、ここで作ろう！」との一声で急遽作ることにになりました。材料は事前に伐採した木材を山小屋まで降ろし、必要な長さにする事から始めました。さすがに参加のみんなはフットワーク良く、脇に、



飯盛山からの絶景を満喫!!

肩に、一輪手押し車にと、どんどん木材を山小屋に運び、その後はのこぎり片手に手際よく所定の長さに木材を切り揃えていきました。誰が指示するでもなく、率先して何処切る?あと何本?のこぎり貸して!とスムーズに作業は進みました。

さて、ひと作業終えるとお楽しみの昼食タイム。風がきついで火を炊すかどうか西川さんは迷っていました。やはりこれがないと!と決断し火を入れ、脇では炭で山のもぎたてしいたけを焼いてみんなでいただきました(とにかく肉厚で子どもの手のひらサイズのしいたけは食べ応えも味も抜群です)いつもの事ですが西川夫妻にはお世話になり今回も野菜たっぷりの豚汁を用意いただき、持参のおおにぎりまでもが自然の中で食べるとこんなにおいしいものかと感激します。昼食後は、運動がてら飯盛

山の中腹まで登り、晴れ渡った青空の下、下界を見下ろし絶景を満喫しました。山道ではどんぐりを拾いながら、果実(ライム、レモン、隼人瓜(はやとがり)など)をもぎながら、お土産に持って帰りました。次回は「ワラビやゼンマイなどが取れる時に来てくださーい、てんぷらにしたら最高ですよ!」と西川奥様がおっしゃり、「是非、またお願いします!」と約束をしてみました。

池島ふれあふフェスタ

十一月二十三日(祝)港区の池島公園にて「池島ふれあふまつり」が開催され、ふくてっくは「木工教室」で参加しました。今年も晴天に恵まれ、大変盛況に終える事が出来ました。協力頂いた会員は総勢二十名に及びます。

例年の「自由木工」に加え、今年には「からくり工作」と「丸太切り」「金物を使った工作」を取り入れ、進化する木工教室にチャレンジしました。

メインとなる「自由木工」は、昨年からの課題である工具貸出しによる進行が午後になるとバタバタとしてしまい、道具の管理ができず、工具が不足するという事態を招いてしまいました(反省)。木工作品は例年通り、男の子は電車(新幹線)、女の子は貯金箱(ハウス型)が人気となり、サンプルの必要性・重要性を再認識させられました。

今年からの新たな試みであり、これからの「ものづくり」で活動の場を広げようと考えている「からくり工作」は十組用意し、一つ二百円と有料にもかかわらず見事完売しました。製作から関わっていた有馬・杉浦・菊田会員が長テールを挟んで子ども達に製作手順を教えていましたが、「むずかしい!」「はいらへん!」などの問題も発生しました。



したが、新しい一歩がスタートでき大変喜んでます。「丸太切り」はのこぎり体験には文句なく効果を発揮し、丸太切りを体験した子ども達は工作に入ってから、のこぎりを上手に使いこなしていきました。道具の体験を目的としている活動としては大成功に終わり、次年度以降も改善をしつつ続けていきたいと考えています。

一日通して盛況だったのが、今年初めての金物を使った工作、「フック付き壁掛け・どんぐり&切り株のペンダント」です。小さい子どもから高学年の女の子まで大満足な作品が出来、喜んで帰っていただきました。田中会員の発案と材料提供で実現しましたが、こういう形でヒット作品が出るのもふくてっくの良いところであり、これからも新しい事を試みたいと思っています。

ふくてっくのものづくり活動も本場に少しずつですが進歩していき、体験バリエーションが多い事は参加する子ども達にも随分と選択肢が増えたかなど、取組の一応の成果を感じています。多くの方に木に触れあっていたら、工作する楽しさを伝える事ができ充実した一日となりました。



最後にうれしかった事をひとつ紹介すると、低学年の女の子が自由木工の材料を探していたので、「何を作るの決めていた?」と声をかけると横から母親が「工作が大好きで、この子将来建築家になりたいんですよ」との事(すごい子どもです)。いろいろと一緒に工作していると、一年前の池島まつりで始めてのこぎりを使って「まだ切る、一人で出来る!」と言った顔を思い出して、「去年も来た?」と尋ねると「うん、のこぎり教えてもらった」と関わった私の事を覚えていてくれました。そして、「来年もまた来るよ」と元気に帰っていきました。

継続しているこんなうれしい事もあるのだなと感激しました。将来どこかで同じ建築家として会うこともあるかも知れませんが、もうその時は覚えてないでしょうね。(小川 忠雄)



お客様に支えられて

田中 直樹

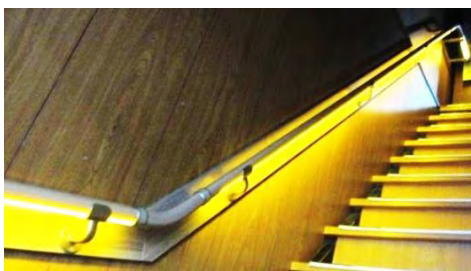
「お客様に支えられ、育てていただいている」とつくづく思います。

私の仕事は金物卸売、手すり製造・販売で、ふくてっくの会員の方と知り合いだったご縁で、今年の9月に入会しました。弊社は、お客様からのお問い合わせや、様々なご要望を頂き、そういった声を基に製品開発を行って参りました。手すりもその中の一つです。

施工しやすく融通のきくジョイントが必要とあれば、3次元でフリーに曲がるジョイントを作り、滑りにくくしたいとあれば、安価でどの位置にでもディンプル加工できる方法を考え、手すりが見えにくいとあれば、LEDで光らせる等、今振り返れば、開発した製品はお客様の声から出来たものばかりです。以前は会長（父）が、新製品を考え、メーカーの開発の相談にも乗っていましたが、それを見て私にはアイデアも湧いてこないし相談に乗れる知識もない、後の会社のことを考えて、プレッシャーを感じていました。

しかし、ある時、お客様が壊れてしまった金具を持ってきて「大変困っている、代用品も見つからず、このままだと長年使っていた愛着のある家具を手放すしかない」との事で、何とかならないかと懸命に考え代用出来る物がないか探したのですが、結局見つからず悔しく申し訳なく感じました。しかし一つの金具でも、お客様にとっては、思い出を繋げる大切な金具なのだと思った時から、扱う金物一つ一つに愛着が湧くようになり、どんな使い方をしているか、なぜこの形状なのか等、知れば知るほど、金物を作った方々の思い、使う方々に対する配慮が見えてきて、感動しました。

私も「人の役に立てる製品をつくっていききたい」その思いから使って頂ける方々の身になって、得意とする分野のノウハウを活かし、必要とされる製品を考え形にする、そう思うようになったのは、お客様のお陰だと感じています。



LED
光る手摺り
(山伸)

会員コラム

学習会に参加して

嘉指 泰輔

はじめまして、今年の4月からふくてっくの会員になりました、嘉指泰輔と申します。ヘルパー（外出の付き添い）を始め、福祉に携わり15年になります。



15年の間に障がい者福祉の制度は措置制度から契約制度へと変わり、法律の名称も変化してきましたが、法律が変わっても利用者さんの日常生活は変わらず、日々の暮らしの中での必要不可欠な外出や一人では行きづらい場所などへ一緒にでかけてきました。

そんな私も今年からは相談支援専門員として利用者さんへの直接的な援助ではなく、困っていることの相談や、目標に向かっていく手助けをする仕事に携わっています。障がい福祉制度でサービスを利用するには、サービス等利用計画というものが必要になり、そんな時期に相談支援専門員という職種になりました。

先日ふくてっくの一員として西宮市の青葉園に見学に行かせていただいた時に、西宮市の相談支援について聞くことができました。市としての相談支援（サービス等利用計画作成）に対する方針が明確になっており、独自の取り組みを進め本人を中心に福祉サービス事業者などすべての人が関わって計画を作成し実行しているというシステムがすでに構築できており、実行されているという話を聞くことができました。他の地域ではまだまだ周知できていない中でこのような話が聞け、非常に有意義なものとなりました。

一人では微力ですが自分の地域でも西宮市のような体制に近づけていきたいと思い、やる気を頂くことができました。



「ある日のお客様との会話 九」

秋岡 安



客：来年から相続税が増税されるの？
私：そうですね。非課税枠が縮小されるので、申告する人が増えますね。

客：どういふ事？
私：現在の非課税枠は五千万円＋一千万円×相続人の数なんです。来年二十七からは三千万円＋六百万円×相続人の数になります。現在の金額の六十%まで下がります。

客：嫁さんと子供二人だとどうなるの？
私：今だと非課税枠は五千万円＋一千万円×三人＝八千万円ですが、来年からは三千万円＋六百万円×三人＝四千八百万円となります。非課税枠を超える場合は申告が必要です。死亡後十ヶ月以内に申告及び納税をする必要があります。

客：申告が必要なのが増えるね。
私：そうですね。現在の申告割合は全国で四、一%なんです。大都市は十%を超えるようです。十人に一人は申告が必要となります。

客：サラリーマンでも都会に家を持ってたらかかっちゃうかもしれないね。
私：そうですね。土地は国税庁が毎年夏に発表している路線価図に基づいて計算します。

客：色々考えなあかんね。
私：新聞によると相続争いが増加しているそうです。遺産五千万円以下が十年で五割増だそうです。相続は別名「争続」とも言いますもんね。

客：税金以前の問題やね。
私：そうですね。生前に遺言を作成しておくとか対策が必要ですね。それよりも最大の相続税対策は「兄弟家族みんな仲良し」ですよ。

客：もたらいろいろな費用が発生しますし、精神的に大変ですからね。

客：もたらいろいろな費用が発生しますし、精神的に大変ですからね。

客：もたらいろいろな費用が発生しますし、精神的に大変ですからね。

■ H26年7月以降 学習会

- 7月 交流会
自立支援センター
「ばあとなあ」新事業所
(東大阪市若江東)
- 8月 総会・20周年パーティー
(学習会なし)
- 9月 「シニアおひとりさまの終活」
講師：殿村 美知子氏
NIS第3の人生 代表
- 10月 「船場地区の活性化と市民活動」
講師：谷口 康彦氏
元UR サポート都市再生業務本部
都市再生企画部長
- 11月 「65才を過ぎてからの健康管理」
講師：福井 宏有氏
福井整形外科院長
- 12月 「活動を支える人事考課・職員研修・・・」
講師：石田 義典氏
NPO ちゅうぶ事務局長



■ H26年度 定例会・学習会予定

- 1月10日(土) 13:30~17:00頃
会場：大阪市立社会福祉センター
親睦会 (学習会なし)
- 2月7日(土) 13:30~17:00頃
会場：大阪市立社会福祉センター
学習会：「障害者就労事業
事業所視察と活動紹介」
講師：熊野 雅文氏 予定

ことば・コトバ

【タイムライン防災】

「タイムライン防災」とは「事前防災行動計画」とも呼ばれ、予想可能な台風や豪雨などの水害に対し、十分な備えを取ろうというものです。例えば台風の場合には、上陸時間から逆算して、「いつ」、「誰が」、「何をするか」を事前に決め、対策を練っておきます。

今年の台風19号で、「JR西日本・東海で、全ての電車を運休にした」というのがタイムライン防災の適用です

和泉秀子



◆ 外部連携 ◆

- 平成二十六年
七月五日
七月定例会を「ばあとなあ」新事業所を会場として開催する。ばあとなあスタッフや利用者との交流を深める。
- 七月二十四・二十五日
全国グループホーム等研修会
近畿地区大会に参加。
- 十月二十五日
住まい情報センター主催の
タイアップ祭りに参加
- 十一月五日
施設見学会
(NPO) ちゅうぶ新施設
「青おに」
「(社福) ユイ」ちゅらゆい



十一月三〇日
大阪城公園で開催された
チャリティーマラソン
「サンタラン」にふくてっく
ジョガーズの有志が参加
しました。

…事務局より…

- ★ 理事会・総会 開催状況
平成二十六年七月十九日
運営会議
- ★ 平成二十六年八月二日
理事会
- ★ 平成二十六年八月二日
総会
ふくてっく発足二十周年
記念パーティー
- ★ 定例会
大阪市立社会福祉センターの
会議室予約方法が変わり、
半年先まで予約できるよう
になりました。
予約後、一か月以内に室料
金の支払いをおこないます。

NPO 法人ふくてっくとは・・・

ふくてっくには、建築・医療・福祉分野の有資格その他、多岐に亘る専門職が参加しており、お互いの専門領域における見識と誇りを大切にしつつ、相互の研鑽しあう機会を育てています。キーワードは「生活者の視点、当たり前の感覚です。」

是非あなたも仲間に入って、自らの人生を耕しませんか。一度、定例会(原則：毎月第1土曜日、13:30～)にご参加ください。定例会では、会員の活動報告や講師を招いての学習会等を行っています。正会員以外の方が定例会に参加される場合は、参加費500円です。

*会費：入会金/無料

：年会費/正会員 10,000円、学生会員 3,000円、通信会員 500円

*連絡先：TEL 06-6614-6800

ホームページ <http://fukutech.sakura.ne.jp/>

メールアドレス mail@fukutech.sakura.ne.jp

